



# 「ネットいじめ」を 考えよう

## ネットいじめ加害者になっていませんか？

「ネットいじめ」とは、ウェブサイトや電子メールで行われる誹謗中傷の意味。小学生が携帯電話を持ち始めている今、子どもたちがマナーを知らないまま無防備にネットを使っている現状があります。また子どもだけでなく、大学生世代でもネット上でのマナー違反や人権侵害が起こっています。今回は、身の回りのネットいじめの現状と、今後どのような意識を持ってネットを使うべきか話し合いました。



座談会コーディネーター

原 清治 佛教大学教授

専門分野：教育社会学、学校臨床教育学、教員養成  
著書：「ネットいじめはなぜ「痛い」のか」(ミネルヴァ書房)  
原 清治、山内乾史 著  
ほか多数

**刀根川** 大学生は学校の友達だけじゃなく色々なコミュニティがありますが、小・中・高校生はそれが少ないから、友達関係がすごく大事なんですよ。

**原教授** なぜ直接話さずネットを使うのでしょうか。

**木下** 時間と場所に関係なく繋がることができるからだと思います。

**刀根川** LINEはグループ登録ができるので、グループ全員で一人をちゃかしたり

小・中・高校生は  
友達関係が  
すごく大事

刀根川有紀  
(同志社大学法学部・4)



「既読」という表示がされてしまうから「読んだのに返信してない」と思われたらまずいので、すぐに返信したいのでは。

**木曾** 確かにLINEは頻繁にチェックしたり返信しないと「置いてけぼり感」があるかも。しかもメッセージを読んだら「既読」という表示がされてしまうから「読んだのに返信してない」と思われたらまずいので、すぐに返信したいのでは。

**木下** 塾でバイトをしているのですが、LINE(無料で通話やメールができるスマートフォンアプリ)にはまつてる高校生が多いです。「メッセージにすぐに返信しないといけない」という意識があるみたいで、塾の授業中でも返信しています。

**松田** 大学生には所属する集団がいろいろあるの、ある意味楽。一方で小・中・高校生はコミュニティが少ないので、そのグループに居ざるを得ない。しかも、ずっと同じグループなので次第に慣れて飽きてくる。それを打破するために、たまに刺激的なことを言うのではないのでしょうか。

**原教授** ネット上で子どもの人権を守るにはどうしたらいいのでしょうか。親はすぐに子どもから携帯電話を取りあげれば良いと言いますがそれは駄目です。そんなことをしたら子どもたちは絶

携帯電話が無いと  
グループに入る権利  
が無いことになる

木下綾野  
(佛教大学教育学部・4)



**原教授** ネット上で子どもの人権を守るにはどうしたらいいのでしょうか。親はすぐに子どもから携帯電話を取りあげれば良いと言いますがそれは駄目です。そんなことをしたら子どもたちは絶

**木下** さらに先生になる側もネットのことを学ぶべきですよ。先生よりも子ども世代の方がネットのスキルがあるはずなので。

**原教授** それは必要ですか。LINEって何ですか。という先生も少なくないですよ。危険性を学校で啓発したり人間関係をつくりな

ネットモラルを  
学ぶ時間を  
つくるべき

木曾裕子  
(同志社女子大学現代社会学部・4)



対に荒れますよね。大学生のみなさんなら子どもの気持ちに分かると思います。

**木下** 携帯電話が無いとLINEでの話題についていけないですし、そもそもグループに入る権利が無いことになりません。何も言われてなくても「悪口を書かれてるんじゃないか」と不安になる子どももいると思います。

おす術を教えないといけません。今の子どもはうまく人とコミュニケーションをとることができないように感じますがそれは今の大学生にも言えると思うのです。

松田 まずは、一部の人が見ることができない「閉じた世界」からネットデビューさせて、ネットの世界について教え込むのはどうでしょうか。プロフィール(ネット上に自己紹介ページを作成できるサービス)に無防備に写真や氏名をさらしている子どもが多いようですが、プロフィールが「閉じた世界」だと思えばいいと思います。

思ってもないことを  
「そういえばそうかも」  
とってしまう

松田光志  
(京都大学工学部・4)



**原教授** ネット上で子どもの人権を守るにはどうしたらいいのでしょうか。親はすぐに子どもから携帯電話を取りあげれば良いと言いますがそれは駄目です。そんなことをしたら子どもたちは絶

**木下** さらに先生になる側もネットのことを学ぶべきですよ。先生よりも子ども世代の方がネットのスキルがあるはずなので。

**松田** 書き込みを見ていると、思ってもないようなことを「そういえばそうかも」と思ってしまう部分もあると思います。それで参

心を育てる教育が  
必要

金村弘之  
(京都産業大学外国語学部・4)



加したくなるのでは。

**金村** 意見や不満があったら、昔の大学生は学生運動などで社会に対して発信していたけど、そのようなことを今の大学生はネットですべてしているのかなと思います。家でできますし、学生運動と違って匿名で守られているから。

**原教授** では最後に、大学生がネットを使う上で注意すべきことや提案があればお願いします。

コミュニケーションをとることがよくありました。



**刀根川** 昔に比べると個人が自由に表現・発信できるから、その点から言うと良い状況だとは思いますが。でもその権利を自由に使い過ぎて責任がなくなっているため、ネットいじめが起こるのだと思います。「自由には責任がある」ということを肝に銘じて、マナーを守ってネットを使用することが大事だと思います。

**松田** ネットも人間同士の空間なので、良識を持って接したら大事にはならないと思います。また、あくまでも主体は自分であり、「使われている」ではなく「自分が使っている」という意識を忘れないこと。

**木曾** 今だったら「あいつまた来た」と書き込まれそう(笑)。でも、自分をさらけ出すことは大事だと思います。

**松田** ネットも人間同士の空間なので、良識を持って接したら大事にはならないと思います。また、あくまでも主体は自分であり、「使われている」ではなく「自分が使っている」という意識を忘れないこと。

**木曾** 今だったら「あいつまた来た」と書き込まれそう(笑)。でも、自分をさらけ出すことは大事だと思います。

コミュニケーションをとることがよくありました。

記事に対するお問合せ先

京都府 人権啓発推進室

TEL:075(414)4271

FAX:075(414)4268

http://www.pref.kyoto.jp/jinken/